



学校だより

横浜市立朝比奈小学校

令和5年1月26日

第10号



「手紙をもらったうれしい気持ちになったので、
これからもみんなに手紙を書きたいです。」

校長 神田 敏之

3年生のクラスで自分や友達のよいところやすきなところを探して伝え合うという活動をしました。上の言葉はその感想です。この取組は、形は異なりますが年間を通じてどのクラスでもしています。始めに友達に送ったメッセージ（よいところ・好きなところ）を紹介します。

- ・手伝ってほしいときに、呼んだらすぐに来てくれて、頼りになるなあと思いました。
- ・いつも授業で発言しているところです。
- ・思ったことを伝えられるのがいいなと思います。
- ・困っている人を助けようとしているところ。
- ・歴史好きでいいと思いました。

次に自分に向けたメッセージ（よいところ・好きなところ）を紹介します。

- ・何かしてもらったら「ありがとう」と言う。
- ・約束を守る。
- ・あきらめずに努力する。
- ・一時停止ボタン
- ・自分から友達になれる。

友達同士のメッセージの伝え合いでは、その人らしさを認めているものがあります。「よいところ」というと他の人と比べてできているかどうかという視点も考えられます。もちろんその視点もあるとは思いますが、多様性が認められる今の時代は、その人らしさを発揮できているかということに視点が当たるべきだと思います。

自分が「好き」や「よい」と思うことを、他の人の評価を気にせず続けていくことが大切です。周りの人から見られて恥ずかしいと思ったり変に思われないかと考えていたりすると、本来自分の物差し（評価基準）で行動するところが他人の物差し（評価基準）を考えて行動することになってしまいます。集団の中でうまく行動していく社会性は必要ですが、空気を読むことが目的になってしまうと自分らしさを発揮できなくなってしまいます。

自分のよさを認められている記述もありました。年齢が上がるにつれて「こんなことはできて当たり前」と思ってしまうこともありますが、昨日より今日の自分が成長しているところを認めていけるようにしていきます。家庭でも小さな成長やよさを見つけ、子どもが自分のよさを発揮できるように声掛けをお願いします。